

# 菅と財務官僚は紙屑

先月7月末で日本政府の外貨準備高は1兆1378億ドル存在している。

外貨準備資金を保有するための資金はすべて、日銀からの借金である。借金で90兆円近くの外貨資産(米国債)を保有しているのである。

最大の問題は、この外貨準備で空前の損失を計上し

ている。円ドルレートは2007年6月に1ドル1124円台をつけていた。これが、今は1ドル177円台である。

1兆1378億ドルの円換算額を二つの時点で計算すると、2007年6月には141.1兆円だったのが、2011年8月には87.6兆円に変化している。両者の差は、驚くべきことに53.5兆円である。たったの4年間で50兆円を超す巨大損失が生じた。

財務省は人の金だと思つて、世界最大の国富を毀損する確信的ぼん助だ。この期間、金地金の価格は円表示で1グラム112800円から1グラム114200円へと急騰した。2007年6月時点で外貨準備資金をすべて金地金に転換していたなら、現在の時価評価額は211.7兆円になる。現在の外貨準備の円換算金額

お盆休み8月15日~16日

87.6兆円と比べて、実に124兆円も多い。

財政赤字が深刻で、社会保障費を毎年2000億円削減して、日本の経済社会がぼろぼろに疲弊した。2000億円の削減を取り沙汰しているときに、財務省は外貨準備保有で50兆円も損失を生み出してきたのだ。歴代財務省責任者を厳重に処分する必要があるが歴史にはない。

財務省は日銀に支払う金利と外貨準備の米国債の金

利収入の差額だけを外国為替資金特別会計で損益処理し、この収支が黒字ということ、外国為替資金特別会計の資金を使つて、海外出張での豪遊費用に充当していた。これも財務官僚の利権の一つである。



外貨準備を売却して、この資金を震災復興事業に充当するべきです。

現在の米国における過剰な国債格付け引き下げ騒動は、日本政府による米国債売却を阻止するための演出の可能性が高

い。今度の震災でクリントン長官がすつ飛んできたのも実にうなずける。

米国国債の格付けがトリプルAから引き下げられても、債務上限引上げ法案が可決されても、格付け問題があるとするのは、日本政府による米国債売却を封じ込めるための演出です。

日本政府が外貨準備の米国債を売却することを妨げるいわれなど一切ないのであり、菅や官僚が国賊と言われる所以です。

歴代の総理で唯一売却を口にしたのは橋本龍太郎と記憶している。蜷気楼は時代のあだ花、従属的独立のボケた蜷気楼だ。

ならない。

この本質は投票者の問題です。

日本が「ガラパゴス」化している状態では未来はない。

いま海外に留学をする若者が激減している。

若者が活力を失った、しかし団塊の中高年が「原発決死隊」に志願する国です。

母なる大地を守ろう。

命の源である母なる大地は、

土の温もりが、樹を育み、草花を咲かせ、動物に食物を恵む。

人間の本質は、困難に陥った

ときにこそ表れる。生き残っている我々は、今大きな試練に直面している。

それは被災地の再建・復興であり、有名企業のシテアが中国や韓国に奪われつつあることです。

## 原発決死隊

日本は科学技術でしか生きれないのに、民主党の某議員は二位ではなせいけないのと絶望的な知性では、恥ずかしくて話に